

町制施行60周年記念 ロゴマーク

たくさんのご応募ありがとうございました

▶問合せ 企画グループ ☎079 (435) 0356

令和4年4月1日に町制施行60周年を迎えることを記念して、記念事業やPRグッズなどに使用するロゴマークを9月から11月にかけて募集しました。

その結果、海外を含め全国各地の6歳から87歳までの方々から計179作品をご応募いただき、選定委員会の審査により次のとおり決定しました。

▶採用作品の作者 **原田 菜摘** さん (大阪府在住)

▶作品の説明

「播磨町」をイメージできる大中遺跡や灯台のモチーフ、60の数字の部分に顔を描き、「協働」する人々を表し、「まちづくり」をイメージした建物を入れデザインしました。

親しみやすい雰囲気になるように、全体的に丸くやさしいロゴマークにしています。



福祉と防災に関する研修を4コミセンで実施しました

播磨町では、避難行動要支援者の避難支援として、防災と福祉の連携促進事業に取り組んでいます。2021年の秋に4つのコミセンで自治会、自主防災組織、民生児童委員の皆さんを対象に研修会を開催しました。

播磨町では、避難行動要支援者（高齢者や障がい者など、災害時の避難行動や避難所などの生活が困難な方）の避難支援についての事業を進めています。2021年夏には、民生児童委員の皆さんにご協力いただき、町内で悉皆調査を実施しました。その結果、町内に1300人以上の避難行動要支援者がいらっしゃるということがわかりました。これらの情報は自治会ごとに分けた名簿にし、希望される自治会にお渡ししています。今回、災害時に地域でどのようなことがおこるか、どんな準備ができるかについてコミセンごとに研修会を開催しました。普段、顔は合わせるけど「防災」について話す機会は少ないようで、「訓練の見直しが必要」や「口頃の見守り活

動を進めたい」など様々な意見がありました。災害はいつ起こるかわかりません。大切なのは、避難行動要支援者に限らず、個人、家族、地域で備えておくことだと思います。そのためにも、例えば社会福祉協議会が支援する支え合い連絡会を定期的で開催するなど、日頃の見守りや話し合いの場が大切だと思います。



▲研修会の様子 (東部コミセン)

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

企画グループ
☎079 (435) 0356